

## 第9回医療政策フォーラム 第3報

### 「総合病院における精神病床のあり方を考える」

主催：日本総合病院精神医学会 医療政策委員会

総合病院精神科の病棟は、診療報酬上平成20年度の精神科救急・合併症入院料の創設、28年度の総合入院体制加算Ⅰの要件改定と精神科急性期医師配置加算の創設などにより、一時期病棟閉鎖が相次いだ状況から、新たに精神科病棟を開設する病院が増え始め、病棟のあり方そのものについても様々な変化がみられるようになってきています。

今回の医療政策フォーラムでは、改めて総合病院精神科の病棟のあり方、今後の方向性について、シンポジストの先生方の発表を踏まえて一緒に考える機会にしたいと考えます。みなさまふるってご参加下さい。

日時：令和元年8月31日（土）午後1時から5時

場所：東京八重洲ホール（東京駅徒歩3分）

#### シンポジウム

##### 1. 小規模精神科病棟の開設と運営について

シンポジスト1：「拡大リエゾン精神医療としての小規模精神科病棟」：倉敷中央病院 土田和生先生

シンポジスト2：「総合病院に新設された小規模精神科病棟の可能性と課題 ～精神科身体合併症専門病棟の取り組みから～」：兵庫県立尼崎総合医療センター 見野耕一先生

##### 2. 精神科救急・合併症入院料算定施設の立場から

シンポジスト3：「一般病棟並みに身体治療ができる精神科病棟の有用性 ～合併症対応に特化した当センターの経験から～」：大阪急性期・総合医療センター 松永秀典先生

シンポジスト4：「精神科救急・合併症入院料病棟の機能と役割」：済生会横浜市東部病院 辻野尚久先生

##### 3. 総合病院精神科病棟について考える

シンポジスト5：「総合病院精神科病床を身体合併症治療に特化することの意義と問題点」：国家公務員共済組合連合会立川病院 桑原達郎先生

シンポジスト6：「精神科患者の精神科患者のための精神科医による総合病院精神科病棟」：足利赤十字病院 船山道隆先生

#### 指定討論

「無床総合病院精神科の立場から」：板橋中央総合病院 片岡岳先生

#### 総合討論

##### <単位認定について>

- ・本学会 専門医・指導医更新単位：10単位
- ・日本精神神経学会 専門医更新単位：B群3単位（専門医カード提示が必要です）

##### <参加に際して>

- ・参加費 2000円
- ・参加ご希望の方は、裏面の参加用紙を事務局までFAX送信下さい
- ・ご不明な点は下記事務局までお問い合わせ下さい

一般社団法人 日本総合病院精神医学会（事務局 TEL/FAX 03-5805-3720）

< 参加申込み FAX >

送信先: 日本総合病院精神医学会・事務局 / FAX:03-5805-3720

## □■ 第9回 医療政策フォーラム ■□

所属 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_

出席人数 \_\_\_\_\_

人 \_\_\_\_\_

### ◆交通アクセス

東京八重洲ホール(1階がセブン・イレブン)

中央区日本橋 3-4-13 新第一ビル TEL:03-3201-3631

地図 <http://www.yaesuhall.co.jp/map.htm>

<JR> 東京駅八重洲中央口より徒歩約3分

<地下鉄> 銀座線日本橋駅・京橋駅より徒歩約5分、東西線日本橋駅より徒歩約5分

### 東京八重洲ホール案内図

- 【所在地】 東京都中央区日本橋3丁目4番13番  
TEL 03-3201-3631
- 【J R】 東京駅八重洲中央口より徒歩約3分  
【東京メトロ】 銀座線日本橋駅・京橋駅より徒歩約3分  
東西線日本橋駅より徒歩約7分

